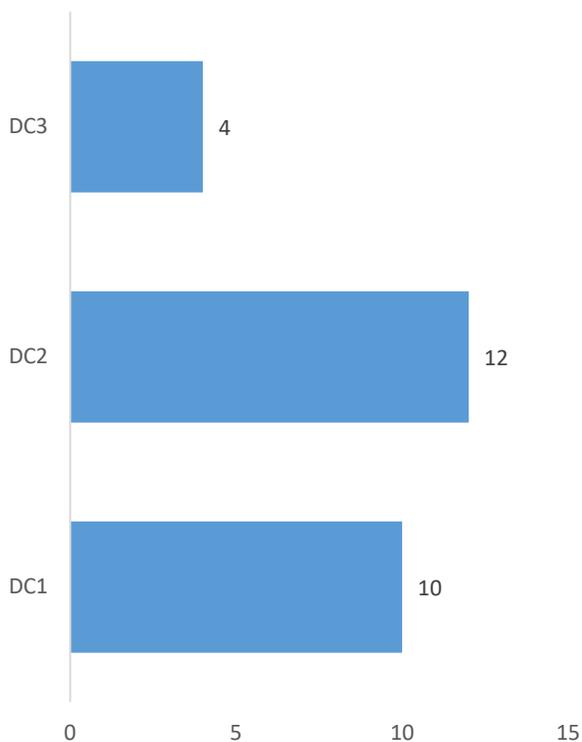


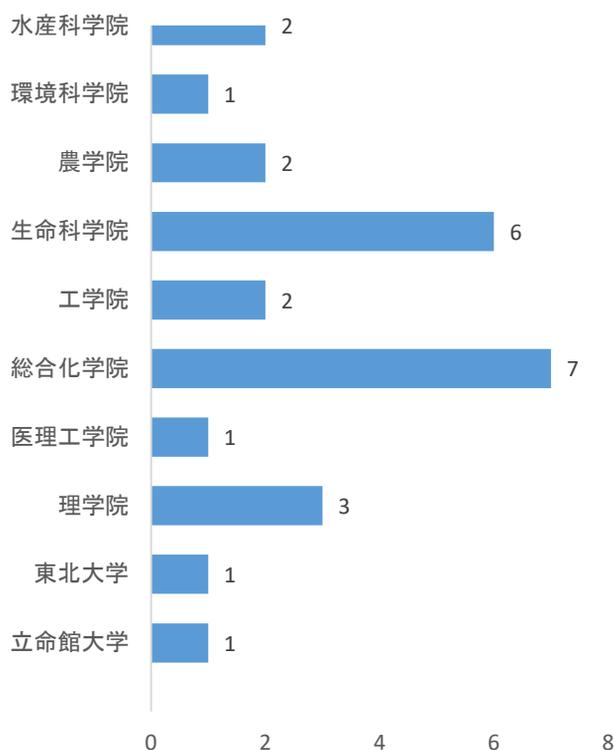
# 第54回（R5第3回）赤い糸会（ONLINE）アンケート

[1] 回答者：博士人材22名・企業15名（参加者：博士人材26名・企業14社）

### 博士人材学年

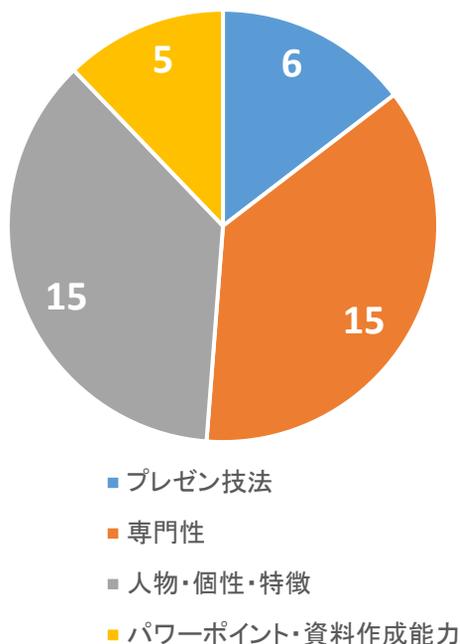


### 博士人材所属

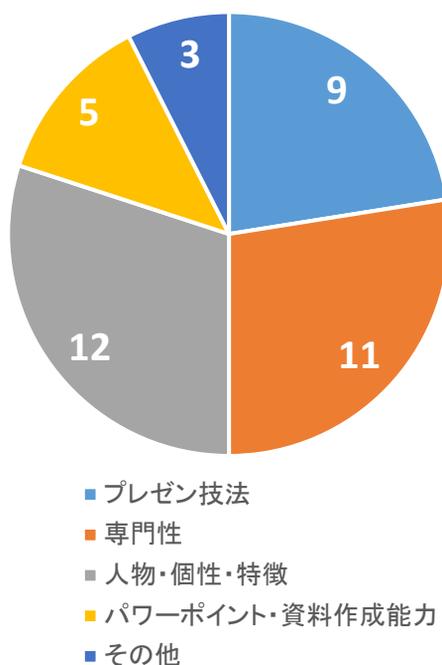


## [2] 博士人材プレゼンテーション

### アピールできた点(博士人材)



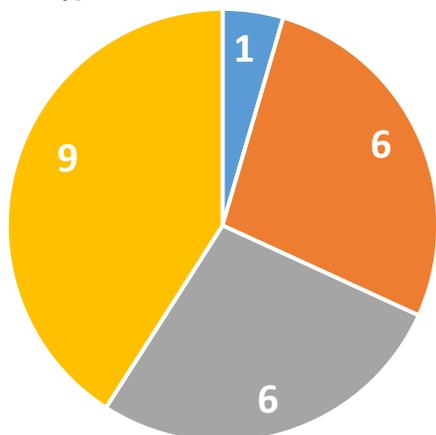
### 注目する点(企業)



### [3] 企業／博士人材とコンタクトがとれましたか？

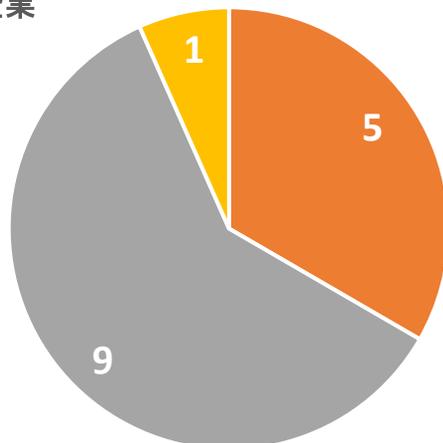
#### ■連絡先一覧を使用してのコンタクトについて

博士人材



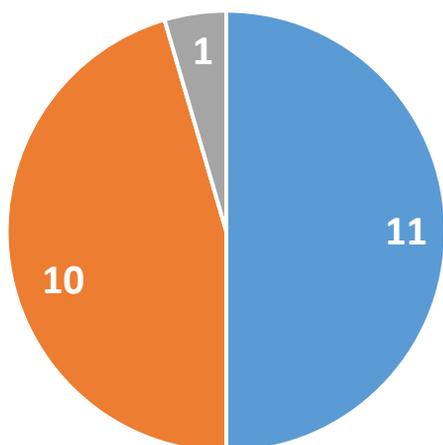
- 十分コンタクトがとれた
- ある程度はコンタクトがとれた
- あまりコンタクトがとれなかった
- 全くコンタクトがとれなかった

企業



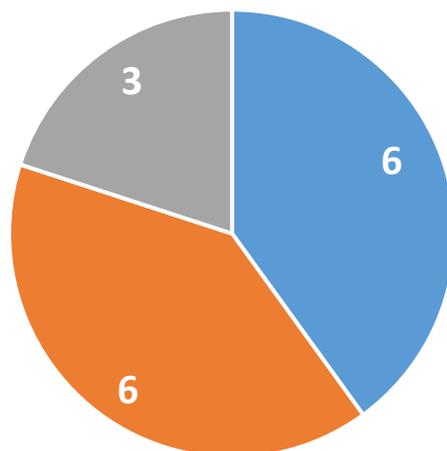
#### ■Zoom(企業ルーム交流会)でのコンタクトについて

博士人材



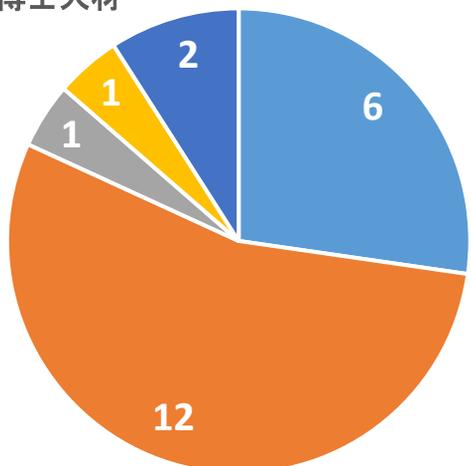
- 十分コンタクトがとれた
- ある程度はコンタクトがとれた
- あまりコンタクトがとれなかった
- 全くコンタクトがとれなかった

企業



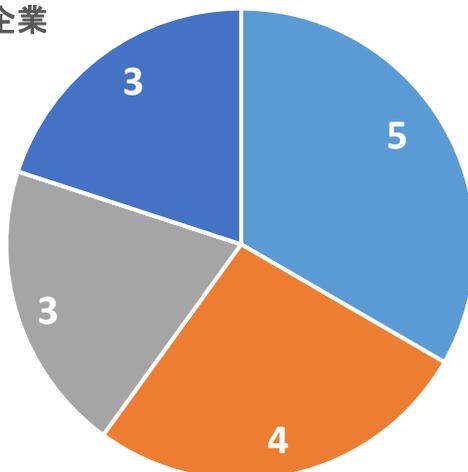
#### ■SpatialChat(懇親会)でのコンタクトについて

博士人材



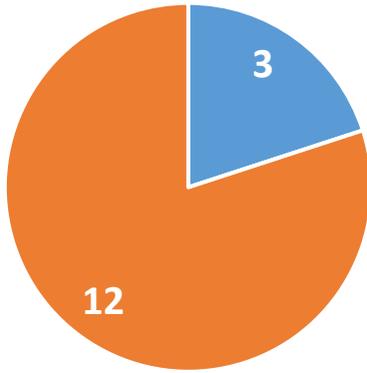
- 十分コンタクトがとれた
- ある程度はコンタクトがとれた
- あまりコンタクトがとれなかった
- 全くコンタクトがとれなかった
- 不参加

企業



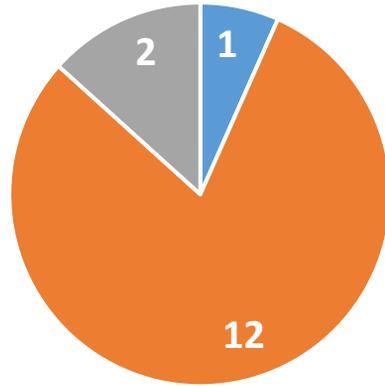
## [4] 企業のみ

参加博士人材について



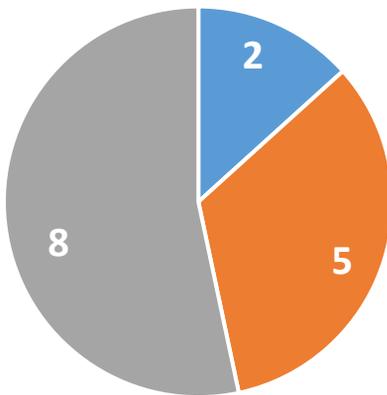
- 1. 欲しい分野の博士人材に会えた
- 2. 意外な分野の博士人材に出会えた
- 3. どちらでもない

参加博士人材に対する今後の対応をお聞かせください。



- 1. 採用したい博士人材がいたので、今後交渉を進めたい
- 2. 採用については未定だが、今後もコンタクトを取りたい博士人材がいた
- 3. コンタクトを取りたい博士人材はいない

DC・PDのインターンシップ(1ヵ月位)について



- 1. 受け入れを表明している
- 2. 受け入れてもよい
- 3. 受け入れは難しい

「3.受け入れは難しい」を選択された方：  
差し支えなければ、理由をお教えてください。

### 他採用活動との兼ね合い

一ヵ月程度のインターンシップについては  
現在受け入れておりません。

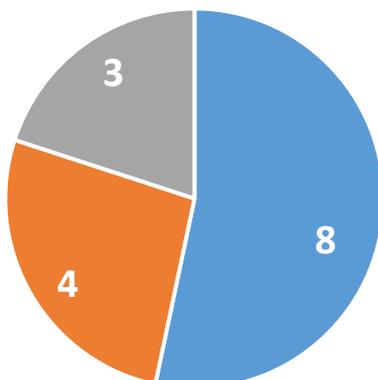
メンバーの就業場所がお客様先であることが多く、  
現状対応できるメンバーがいないため。

会社規模的に宿泊先等を含めた手配が難しいため

弊社のインターン制度では、期間が1dayに限定されているため

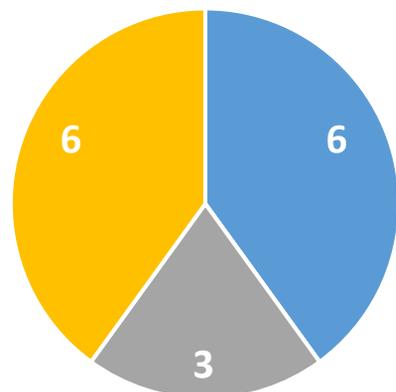
1ヵ月位の長期間は弊社受入部署の負担が大きいため

DC採用について



- 1. 定期的に採用したい
- 2. 時期に関わらず、採用したい
- 3. 採用については未定

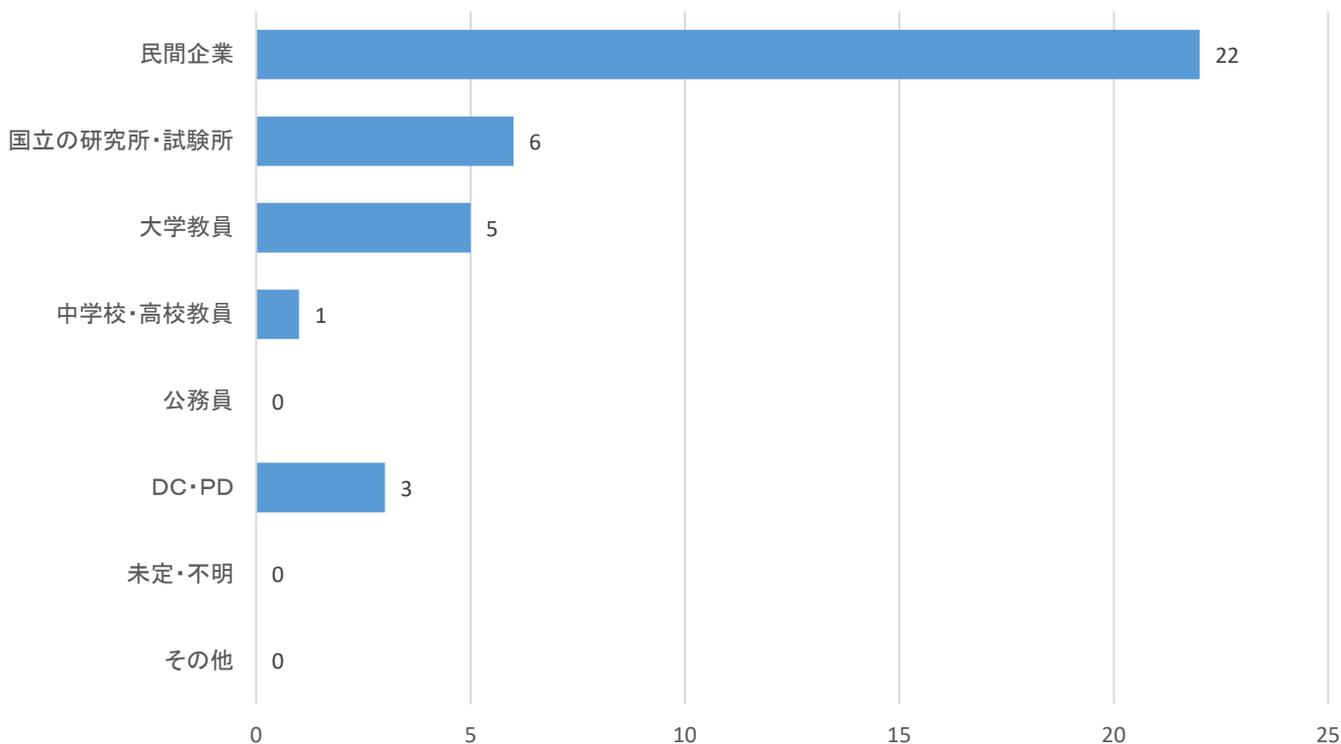
Hi-System(博士人材と企業の双方向ネットワーク)は  
どのように利用していますか？



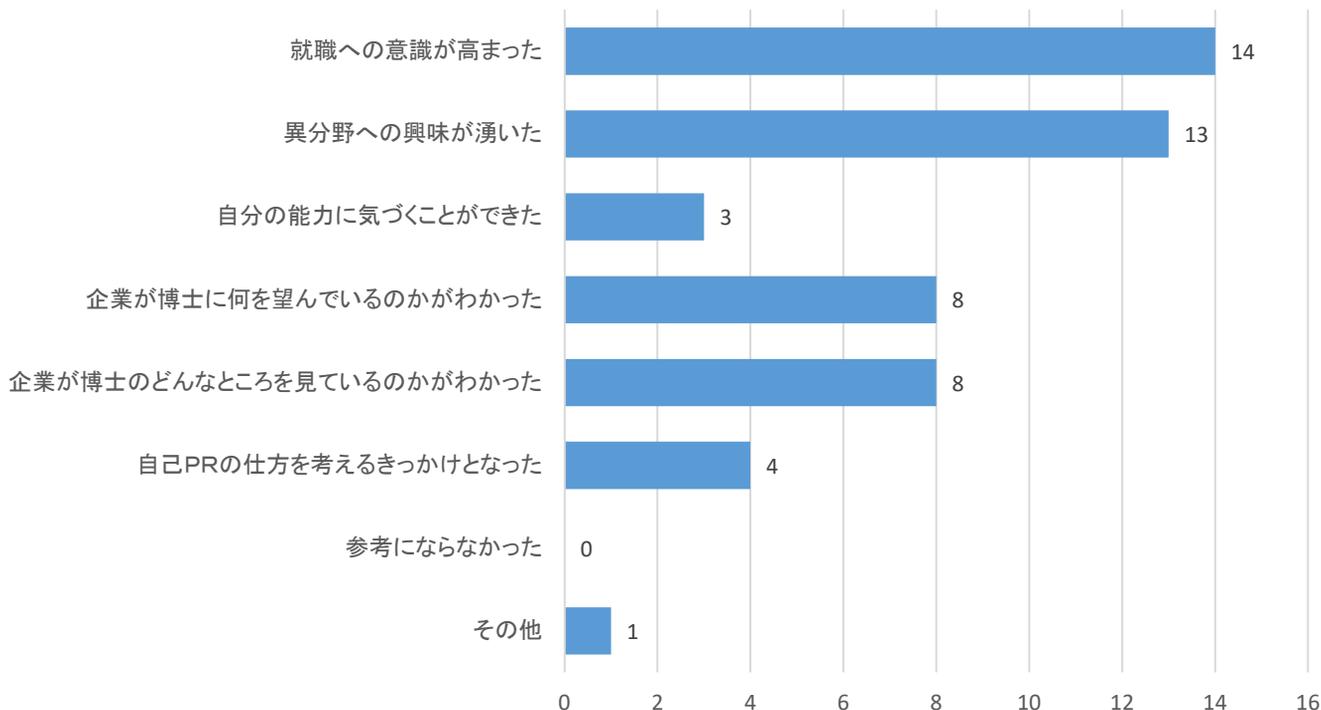
- 1. イベント参加
- 2. コミュニティ
- 3. 博士人材検索
- 4. 利用していない

## [5] 博士人材のみ

あなたは、今後のキャリアパスをどのように考えていますか？（複数回答可）



「赤い糸ONLINE」は、進路決定の参考になりましたか？（複数回答可）



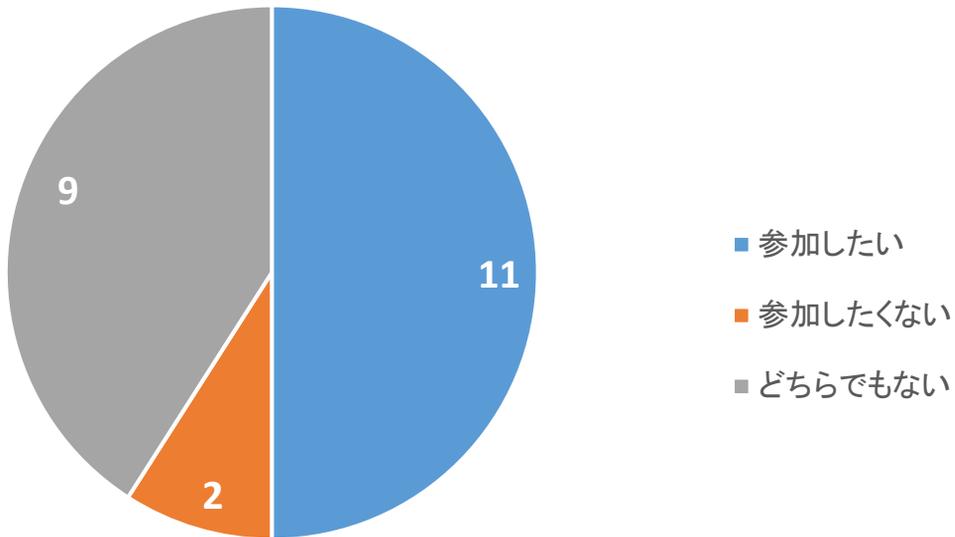
その他の回答:自分がどのような会社に魅力を感じるのか、どのような優先順位で企業の情報を得たいのかについて理解を深めることができたと思う。

[6] 「赤い糸ONLINE」に参加して新たな気づきはありましたか。  
それはどのようなことですか。（博士人材のみ）

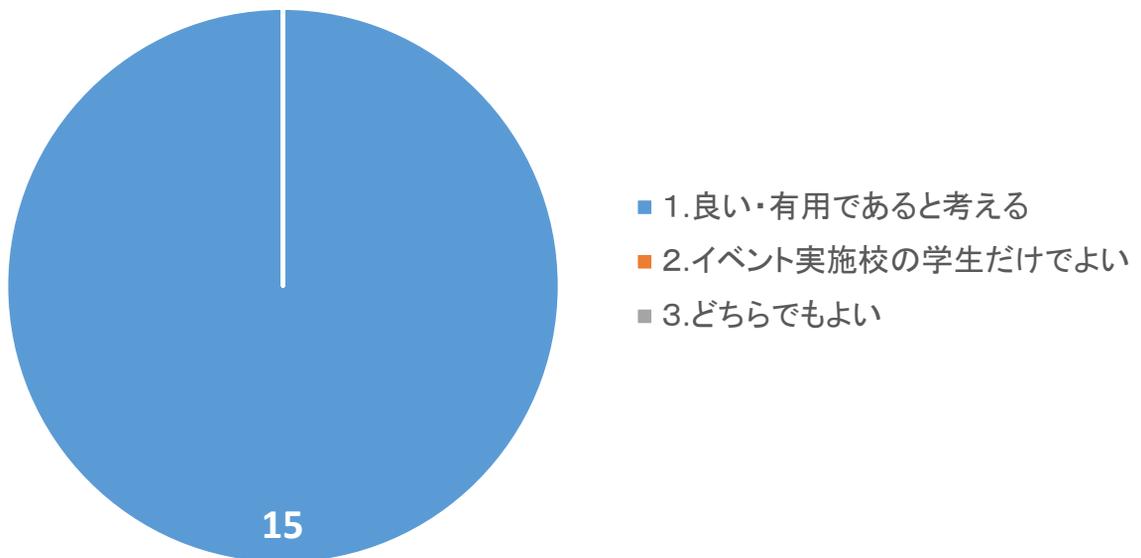
1	会社によってどのようなところを見ているのかが違い、専門とマッチしなかったとしても経験などを見られることもあることが分かった。
2	自分の専門性が近い企業以外にも活躍できる場があるということ。
3	専攻は思ったより関係ないこと
4	博士課程なので、専門性や研究者として優れているのかが非常に大きなポイントになると考えていたが、そこに至るプロセスや、共同研究を進めていくことといった過程やチームとしての関わりについても重視されていることを知りました。
5	プレゼンの時間、話す時間を気を付ける必要があります
6	社員自身の意思で主の業務以外にも多様な活動ができること、それを奨励するような制度があること、また実際に使っている人が一定数いることがわかると、入社してからも成長の機会があることに期待ができ、魅力的に感じることがわかった。
7	博士採用と一口で言っても各社求めていることが大きく異なること。マッチングの大事さ、普段の就活における立場の非対称性。
8	やはり、メーカーの中のエンジニアは面白いと思いました。
9	プレゼンの仕方です。かなり磨かれたと感じています。
10	自身の分野と関係なさそうな企業でも、よく業務内容をみると関連がある場合があることに気づいた
11	前は論文を出版前だったが今回は論文を出版していたので、その功績のようなものも評価していただけた
12	ガスやシリコンなどの異分野でも有機系の技術や知識が必要とされていること。
13	博士人材にはスキルも求められているが、やる気などの気持ちの面で先頭に立てる人材が求められていると気づいた
14	さまざまな分野についても知ることができました。
15	博士の専門知識に対し、会社による重視の程度は違う気がします。
16	企業によって特色が異なる
17	企業ごとに個性があること。また、専門性を深めていったプロセスこそが大事であることに気づいた。
18	博士プレゼンルームに学生と企業の方が揃った時点で残り約8分弱なので、プレゼン演習を8分想定でやるか、ブレイクアウトルームの時間設定を11～12分にするのはどうでしょうか。
19	博士学生を積極的に採用している企業を新たに知ることができ、とても良かった。
20	私の専門の中で企業から求められるものがどういうことか感じることができた。
21	思っていたよりも幅広い企業が自分の専門性に興味を示してくれて面白かった。
22	研究職以外にも検討する価値がある

[7] 東北大学・名古屋大学・北海道大学におけるコンソーシアム（全13大学）の取組みで、本会のような各大学マッチングイベントに連携大学の学生が参加可能なことについて

博士人材



企業



コンソーシアム(全13大学)の取組みについてご意見がございましたらお聞かせください。

博士学生にとっても、企業にとっても素晴らしい取り組みだと思います。

可能であれば、リモートだけではなく、対面での面談の機会もあることが望ましい。

## [8] 今後、博士人材へ期待すること・要望など（企業のみ）

1	自分野だけでなく、幅広く興味を持っていただきたい。
2	次世代コア事業の創出
3	調査分析能力や自己管理能力、高度なデータ解析能力など、専門分野以外でも活かせる能力を期待しています。
4	専門知識以外の能力(IT、コミュニケーションなど)を期待します。
5	ご自身の研究・専門性への拘りと新しいことへ挑戦することへの柔軟性
6	自分の研究活動に真摯に向き合っていただければ幸いです。
7	専門性とのマッチングがあるに越したことはないが「人に伝えたいことが伝わるか?」を個人的には見ている。「ロジカルであるか」という言葉で言い換えられていると思う。
8	日々の研究活動を大切に、そして、その研究で培った能力はご自身の専攻以外の分野でも発揮できることをぜひ知っていただきたいと思います。
9	あらゆる分野の博士人材の皆さんが存分に力を発揮し、日本を発展させていってほしい
10	基本的には専門領域を突き詰めて研究を進めていただくことが大切だと思っております。一方で民間企業に就職することを考えている方は、自分の研究がどういった形で企業の研究等に活用できるのか、説明できるような練習を積まれたほうがよいかなと感じました。
11	専門分野を極めることはもちろんですが、より多くの分野に好奇心を持ち、それぞれの分野で高い応用性を発揮できる人材を歓迎いたします。
12	ご自身の研究について、専門性がない人・ある人それぞれに向けた説明ができるようになっていただきたい。
13	専門性だけでなくコミュニケーションや協調性といった能力面も伸ばしていただければと思います。
14	当社といたしましては、博士人材の採用を強化していこうと考えております。
15	ご自身の専門性と考える力を高め、研究がより良い結果になるよう頑張ってください。

## [9] 全体を通して、「赤い糸会」（赤い糸ONLINE）についての意見、要望など

### 博士人材

1	とても良い機会を与えてもらって非常にありがたかった。これからも存続してほしいと感じた。これまで参加していなかった企業にも参加していただけるようになるとうれしい。
2	企業の方の役職がぱっとわかればよいなと思いました
3	いつもお世話になっております。とてもありがとうございました。
4	企業で博士課程がどのように活躍していくのかを明確化することができました。また、自身の強みについても再認識することができました。
5	spatial chatへの参加者が多くと、ネットがちょっと重くなるような気がします
6	学生側はプレゼン演習などで専門外の担当者にも研究内容を伝える努力をしているので、企業側も紹介動画あるいは企業ルームでの説明資料は専門外の学生にも概要が一目で伝わるようなものを作ってほしい。
7	博士人材のみの交流を本日もう少し行えたら良かったのではないかと思います。
8	全体的にスケジュールがタイトな部分がありました。ただ、日程や時間を含めて妥当な範囲に収まっていると感じました。
9	まったくありません。良く練られた会と感じています。
10	特にありません。
11	もう少し休憩時間があるとありがたかった
12	ブレイクアウトルームの使い勝手が悪い。
13	博士プレゼンの時間が丁度だった。 異分野（興味のなかった）企業の方との話題がなかなか思いつかず、苦労した
14	さまざまな企業の方と交流することができ、大変満足しています。
15	良いイベントでしたが、外国人とする自分が他の参加者よりしにくいと感じます あくまでも自分の問題だけど、ちょっと惜しいと思います。
16	特になし
17	現地でやった方がコミュニケーションがとりやすいかもしれないと思った。
18	いつもお世話になっております。今後とも宜しくお願い致します。
19	zoomだと参加しやすいのでとても良かったです。
20	特になし。
21	上記でも回答したが、SpaticalChatの動きがかなり重くて使い勝手がよくない気がする。
22	特にありません

## 企業

1	優秀な学生の方が多いと感じました。有意義な時間でした。
2	全体的に各セッションの時間が短いように感じた。発表者のルームは固定でもよいのでは。もしくは企業からのプレゼンは全体で1回でもよいのではないかと思います。
3	他の方とは違った分野、面白い視点でプレゼンしている方もいたので、私自身の勉強にもなりました。このような機会をいただきありがとうございました。
4	いろんな分野での人材との交流もできて、大変勉強になりました。
5	WEBの場合どうしてもコミュニケーションがとりづらい面があると感じました
6	このような機会を設けていただきましてありがとうございました。
7	学生との交流の機会は常に新鮮で楽しい。特に自分自身が博士号を取得しているのでバイアスがあるが、能力のある博士が活躍できる場所で適切に評価される環境を目指している良い取り組みだと感じている。
8	特にございません。この度はお声がけいただき、ありがとうございました。
9	我々の業種とは異分野の学生がほとんどでしたが、新鮮なお話が聞けて面白かったのと、興味を持って聞いてくださり嬉しかったです。
10	たくさんの学生の皆さんと話す機会をいただけて、大変有意義でした。
11	運営(大学)の配慮が学生・企業双方に行き届いており、支障なく幅広い分野の人材と交流を持つことができました。当方(成瀬)個人の感想で申し訳ありませんが、本会のみで人材を選定・採用することはないことに留意しつつも、学生とのコミュニケーション・人材採用の糸口として、このような会を今後も利用したく思います。
12	プログラムの順番が適切だったと感じています。こちらからプレゼンを聞きに行った学生さんが、次の企業ルーム交流会で来てくださり、その後も個別にお話しすることができた。
13	特にありません。企業と博士人材の橋渡しを頂きましてありがとうございます。
14	SpatialChat(懇親会)で、もう少し多くの学生さんと交流できたら良かったです。
15	先日は優秀な博士の方と接することができる赤い糸会に参加させていただきありがとうございました。学生の研究分野とは異なる企業にも積極的にコンタクトを取るようアナウンスいただいたことがとてもありがたかったです。

### [10] J-window（先端人材育成センター担当教員との面談、エントリーシートなどの添削、面接練習）の利用について

